



新年のご挨拶

社会福祉法人びわこ学園 理事長 口分田 政夫

新年おめでとうございます。皆さま方におかれましては令和8年の新春を健やかに迎えになられたことお喜び申し上げます。午（うま）年を迎えました。うまが颯爽と、野原を駆け回るように、私たちも、出会いから始まる様々なできごとの空間を、思い切り、駆け回っていきたくたいと思います。



びわこ学園は創立64年目を迎えます。糸賀一雄先生の「人と生まれて人間となる」という理念は、生み出された命が、人と人との間柄が深まる中で、人間として成長し、相互の共感へと変化していくことを示しています。また、「この子らを世の光に」という言葉は、関わりの中で生まれてくる、「いのち」の輝きが、私たち自身の希望、ひいては世界を変える力となることを教えてくれます。重症心身障害児者の心の中にある鏡には、周囲の私たちの姿が映し出されます。彼らが幸せに生きることは、私たち自身の希望でもあるのです。糸賀一雄先生と島田療育園の小林提樹先生が相提唱した「重症心身障害」という概念は、発達の可能性と命を守り抜く思いが込められた、歴史的な転換点でした。私たちは、日々の実践の中で、この理念を深く引き継いでまいります。

現在、私たちは人材確保の困難さ、物価や人件費高騰によるきびしい経営環境に直面しています。利用者を一人の生活者として、尊厳を重んじ支援していくこと、同時に職員に対しては、働きやすい職場にしていくことが求められます。

2026年は、未知なる状況が出現して来ます。そこに勇気を持ち、立ち向かいたいと思います。新たな状況との出会いは、不安ですが、新しく何かを生み出す力となります。皆で力を合わせ、未来を切り拓いていく覚悟です。本年もよろしく願いいたします。

（くもで まさお）

